

農村景観 応援団 金田団員 と語る



鵜養集落の皆さん

市の案内を受ける農村景観応援団
金田団員(左)【人間文化研究機構 機構長】

地域の景観を活かした取組

地元

この地域の美しい景観は昔から注目されてきました。何か景観を活かせることができなにかと思います。

地区内にはお店が一軒あり、春は山菜採り、秋はキノコ採りの時期になると自動販売機の飲料がよく売れるそうです。人は大勢来ていますが、通過するのみであり、この人たちを相手に何か出来ないでしょうか？

量はあまり採れないため、直売所のように毎日、品物を出すことは難しいと思いますが、春と秋に一回イベント的にここで採れたものを売れば関心を持つ人が来てくれると思います。

また、地元の農家でグリーンツーリズムとして農家民宿を考えている意欲のある方もいます。

金田団員

地元のを活かした特産品を考えれば良いと思います。例えば、山ぶどうをワインにするとか誰か作っている方はいないですか。一般的ではありませんが、独特な味で東京でも山ぶどうを使ったワインを見たことがあります。ただし、設備投資をして新しいものを作るのではなく、ここにしかないもの、ここでしか出来ないものを考えることが必要です。

そして伝統的なものに入れて利用できるようにし、維持していくことが大切だと思います。

伝統的で生きているものが求められ、特長のあるものでないと受け入れてもらえないのが事実です。そこが難しいところです。

また、グリーンツーリズムについては、一つ例があります。

滋賀県高島市針江では、観光客が増えてプラスの面とマイナスの面が出て来ています。



佐藤金正 町内会長(右)
集落の声を代表して、お話し
きました

マイナスの面とはカメラを持った観光客が個人宅の敷地内まで勝手に入ってくることです。そこで、地元ではボランティア団体が日時を決めて観光客を案内しています。

さらに、最近ではボランティアが空き屋を借り、そこで地元の米や特産物を利用した昼食を予約で観光客に提供しています。

民宿施設はないので、もし民宿をやりたい方がいれば観光客に宿泊も提供できるでしょう。

この地域には、季節によって山菜採りや川辺の散策など可能性があり、色々結びつけて考えていくことも一つの方法だと思います。

景観を構成しているもの 調和を乱さないこと

地元

年配の人や昔の事を知っている人が少なくなり、伝統を受け継いでいくことが出来ないことは痛感しています。

環境的には、あまり変わっていないと思いますが、昔の小道、けもの道が、今は拡張し、舗装され、失われてしまいました。

金田団員

昔の細い道が必要上、拡張し、舗装された事が昔の景観を失って良くないとの考えなら、それは違います。

生活のために必要なことはしないと生活出来ません。

ただ、闇雲に行うのではなく、全体の調和を乱さないで行うことが重要だと思います。

必要な変化は当然ありますから、何も変えてはいけないということではありません。

景観としての価値とは？

金田団員

昨今は、どの地域であっても、同じ家と同じ生活パターンを求める時代になっています。

ところが、実際は、同じ事を求めても、鵜養で生活するのと、秋田市内、東京、あるいは、ニューヨークで生活するのでは全然違います。

各々の土地の特性や条件が異なるため、それを無視して同じ事を求めるのは難しい面があるのです。

景観とは何かと考えると、その地域で何十年、何百年と長い年月をかけて生き残ったものがその地域に最も適した伝統的な景観であり、逆に適さないものは、その土地から無くなっています。

伝統的なものとは、その地域の環境に密着したものであり、それを大切にすることに意味があるのです。

今は、伝統的なその地域の特性をよく示したような景観に高い価値があると考えられる時代になってきています。

そのような景観を大切にすることにより、地域の資産価値が高まることとなります。



山々に自生する山ぶどう
意見交換会でも話題になりました

また、景観は誰にでも見えるものであるため、あつる所に変な建物を作ってしまうと、周りの景色は台無しになり、資産価値が落ちてしまいます。

つまり、**伝統的で地域の環境に適したものが残っていることに景観としての価値がある**のです。

今日、こちらを散策しましたが、水田はよく手入れされ、きれいな水が流れており、イワナまで泳いでいるのを見て驚きました。山ぶどうも見つけました。

この地域には、日本の大都市近郊では見られない大変豊かな環境が残っています。それを大切にして活かすことを考えていただけたら、プラスになると思います。



集落の声に応える金田団員

●地元住民のコメント

秋田市は広く農村部がたくさんあります。

電車、飛行機で来てもすぐ純農村風景が見られるのが売りだと思います。比較的町からも近いので、これを外へ向けて多くの人に知ってもらいたいです。これだけ色々な素材があるのですから・・・。

●農村景観応援団 金田団員のコメント

今日は、地域内の貴重な水辺空間を散策させていただき、途中では、山ぶどう、サルナシ(キウイみたいなもの)を食べ、感激しました。それだけでも感心します。

日頃生活していると気付かないことが外部の人によって気付かされたりすることがあります。地元では当たり前で気づかないことも実はあるのです。

気付かないものこそが本当は外部から見ると一番求めているもの、ここにしかないものが多いのです。

そういう事をボランティアなどを通じて外部へ広めていく事もプラスになると思います。

外から来た人たちが、何に感心するのか分かる訳です。

ただ、ありきたりの観光地になってしまつては台無しになってしまいます。

そこは難しいですね。